

SOLAN HARMONY

この夏休みは、親子で 対話する時間にしましょう

これから2週間の夏休みに入ります。毎日、本日に暑い日が続いていますが、世間はオリンピックの話題で持ちきりですね。

長期休暇は、**家族との絆を深める絶好のチャンス**です。例えば、一緒に料理をしたり、近くの公園でピクニック（暑いので難しいかもしれませんが...）をしたりするなど、シンプルなアクティビティでも**思い出に残る時間**を過ごせるでしょう。涼しい室内で読書や映画鑑賞、手芸など共通の趣味を見つけて楽しむのもひとつの方法ですね。パリオリンピックをテレビで一緒に観戦して、スポーツの魅力や選手たちの努力について話し合うのもよいでしょう。

普段は、なかなか**ゆっくり親子で対話する時間**が取れないかもしれませんが、この長期休暇の機会を活用してみてください。

親子で対話をする話題のひとつとして、**子どもの進路について**話し合ってみてはいかがでしょうか。

子どもと将来の夢や目標について語り合うことでお互いの理解を深め、親子の絆をさらに強めることができます。親の価値観や現在知っている情報だけで判断するのではなく、**子どもがどんなことに興味を持っているのか、どんな職業に就きたいと思っているのか**を知ることは親にとって非常に重要です。

参考になるかは分かりませんが、私の長男の話します。彼はこの春、「学校法人角川ドワンゴ学園S高等学校」を卒業し、自宅のある新潟県上越市で就職しました。就職先は、東京に本社があるIT系企業の上越支社です。この話を聞いた方は、「長男さん、かなり優秀なんですね!」と教えてください（おそらく、テストで点数が取れるという意味で...）。しかし、実際のところそんなことはなく、**親子で悩み、葛藤の日々**を過ごしてきたことを、つい最近のように思い出します。

親としては「広域通信制の高校で大丈夫かな?」（今では一般的になりましたが、3年前はまだまだネガティブに捉えられがちでした）、「高卒で就職できるのかな?」、「友達はできるのだろうか?」という何とも**言えない不安**が正直ありました。

でも、これは「長男の人生」です。親ができることは、**子どもの思いをしっかりと聞き、その選択を全力で応援すること**だけです。そこで、私は長男との**対話の時間を大切に**しました（それまではあまり対話してこなかった、という反省もあります...）。

いざ、いろいろ対話してみると進路に関する話題だけにとどまりませんでした。中学校生活のことや友人関係、最近の出来事などについて**初めて親子で話す**、とてもよい時間となりました。

長男がどのような**思いで進路選択**をして、**就職先を選んだのか、そして、今後どう生きていくのか...**その話は、またの機会に学級通信で紹介しますね。

この夏休みは、みなさんにとって素晴らしい対話の時間が取れ、2週間後、**日常生活に戻ったときにも新たな活力を得る機会**となることを心から願っています。ぜひ、**家族との時間を大切に**し、**充実した夏休み**をお過ごしください。



<「SOLANの森プロジェクト」成果発表のようす>



“Embracing Diversity, Creating Harmony:
Students Unite for Success”

